

三里塚斗争支援カンパを!!

女性解放運動準備会三里塚斗争支援委員会

22日の強制代執行開始から一週間、反対派農民の闘いの内容は、5年前よりは、現在、昨日よりは今日というふうには、すでに成田農民だけのかかえる問題としてではなく、われわれのもつ日常性への鋭い追求となつてきている。

成田農民のへ土地への執着は、人間が人間として扱われなくなつていゝる社会へのあくなき挑戦であると共に都会に移り住むわれわれが、巨大な虚構の中に身を沈めて、真に人間らしくあることとはいかなることかを忘れてしまつていたことを気付かせた。われわれは、日々の労働が、いかに自分に還元されないでいるかを知った。マイ・ホーム主義の幻影が、いかに多くの人々をエコノミック・アニマルにしたか、愚鈍にしていることか。そして、この状況を支えているものは、結婚生活の留守番役である女であるということ。

彼らは長い斗争の中で、義理、人情、血縁による古い家族の関係からぬけて、闘う者こそ仲間という同志の関係を、新しい人間関係を構築していった。新しい男と女を、父と母を、子供を、自らの手で創造しつつある。特に、婦人行動隊の闘いの強靱さは三里塚斗争の大きな戦力となつていゝること、新しい人間関係の主役であること、はわれわれに活路をひらいた。

成田農民の闘いは、すでに彼らのみの闘いではない。失はれた人間関係を新しい人間の関係へと高めてゆくこととする者達全ての闘い、追従・隷属から主体性をとり戻し自らの声を叫ぼうとする者達全ての闘いなのだ。

三里塚空港粉砕 / 強制代執行粉砕 /

三週間の塹壕攻防戦に勝ちぬくべく最大限の支援を
貫徹しよう /